

L-01 絵画の中の絵画、映画の中の映画

講師 津田 佳紀 (ツダ ヨシノリ)

コース 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 教授

科目 教養と文化1 映像とメディア (絵画) 他

可能日 月曜日 土曜日

形式 講義

講義内容

ヨハネス・フェルメールの絵画の中には、その背景に別の絵画が描き込まれている例が散見されます。このような画中画の仕組みを解き明かすとともに、映像作品や現代アートにおける引用の手法についても解説します。

【必要機器】

ビデオプロジェクター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

自分の好きなアート作品や映像作品をピックアップしておいてください。

【受講される方にひとこと】

マンガ原作の実写化問題や、二次創作などについても言及します。

L-02 「見ること」と「見られること」

講師 津田 佳紀 (ツダ ヨシノリ)

コース 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 教授

科目 教養と文化1 映像とメディア (絵画) 他

可能日 月曜日 土曜日

形式 講義

講義内容

「見ること」と「見られること」によって形成される人間社会について、絵画や映像作品をヒントにしながら探ります。また、その背景にある社会の構造についても考えます。

【必要機器】

特になし (あればプロジェクターと映写可能な壁・スクリーン)

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

得がありません。

【受講される方にひとこと】

映画や、PV、コマーシャルムービーなどに興味のある人は、この授業を通じて、それらの映像をこれまでとは異なる視点で捉え直す機会になるかもしれません。

L-03 「推し」から広がる世界を探究しよう

講師 茶谷 薫 (チャタニ カオル)

コース 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 教授

科目 芸術と科学、海外研修 異文化体験 プロジェクト 芸術教養演習 卒業研究

可能日 事前にご連絡いただければ能う限り調整いたします。

形式 講義とワークショップ

講義内容

推しのキャラ、楽しみなストーリー、気になっている世界観…なぜそれが好きなのか。自分と作品や作品世界の関係を、歴史・地理・自然科学・文化など、世界を幅広く深く学ぶ楽しさを得ていきましょう。

【必要機器】

特になし (あればプロジェクターと映写可能な壁・スクリーン)

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

好きな作品 (マンガやアニメ、ゲーム、曲など) や人 (アイドルなど) を見直してください。

【受講される方にひとこと】

好きなものがある、ということは素晴らしいことです。それが学びで最も重要なことです。好きなものを出発点に「総合的な探究」をしていきましょう。

L-04 身近なものごとと、芸術・社会の関係を探究しよう

講師 茶谷 薫 (チャタニ カオル)

コース 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 教授

科目 芸術と科学、海外研修 異文化体験 プロジェクト 芸術教養演習 卒業研究

可能日 事前にご連絡いただければ能う限り調整いたします。

形式 講義とワークショップ

講義内容

私たちの生活に当たり前のようにある衣服、家具、家屋などは「デザイン」された文化的なものです。身近にあるさまざまな物や事を分析し、生活をよりいっそう深く楽しく、芸術を学ぶ意義を理解しましょう。

【必要機器】

特になし (あればプロジェクターと映写可能な壁・スクリーン)

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

自宅やコンビニ、スーパーで親しんでいる食べ物や、衣服・生活空間・家具・建物などを、じっくり見ておいてください。

【受講される方にひとこと】

みなさんの身近にあるものは、何から、どうやって作られているのでしょうか。身近なものから広がる世界を楽しみましょう。

L-05 記憶に残るデザインの秘密

講師 山田 勝洋 (ヤマダ カツヒロ)

コース 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 准教授

科目 芸術教養レビュー、芸術教養演習、卒業研究、アートプロジェクト

可能日 事前にご連絡下されれば可能な限り調整致します。

形式 講義・演習

講義内容

ポスターから料理、プレゼント選びまで、実は日常すべてが「デザイン」です。なぜか忘れられないCMや思い出の品には、どうやら秘密があるようです。広い意味での「デザイン」と「記憶」の秘密を、簡単なワークを通して体験しましょう。

【必要機器】

プロジェクターと映写可能な壁・スクリーンまたはモニター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

視点を変えるだけで、見慣れた日常が違って見えてきます。モノゴトを捉え直すデザインのおもしろさを一緒に体験しましょう。

L-06 絵画鑑賞がもっと楽しくなる！西洋伝統絵画から学ぶ「絵の見方」

講師 山田 勝洋 〈ヤマダ カツヒロ〉

コース 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 准教授

科目 芸術教養レビュー、芸術教養演習、卒業研究、アートプロジェクト

可能日 事前にご連絡下されれば可能な限り調整致します。 **形式** 講義・演習

講義内容

名画を見ても「よくわからない」と感じたことはありませんか？ 実は、絵画には「見るためのコツ」があります。聖書や神話の主題、隠された意味を知ること、鑑賞はもっと楽しくなります。簡単なワークも交えながら、みんなで絵画鑑賞を楽しみましょう。

【必要機器】

大型モニター（推奨）またはプロジェクターとスクリーン
※プロジェクターの場合は高精細なもの

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

ちょっとした知識があることで、同じものも全然ちがって見えてきます。「知ること」と「見ること」のつながりをぜひ体験してください。

L-07 モノと意味の関係をデザインする

講師 山田 勝洋 〈ヤマダ カツヒロ〉

コース 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 准教授

科目 芸術教養レビュー、芸術教養演習、卒業研究、アートプロジェクト

可能日 事前にご連絡下されれば可能な限り調整致します。 **形式** 講義・演習

講義内容

目の前の「モノ」に、どのような「意味」を見出しますか？ この講義では、古い写真やみなさんが持ち寄った小物を自由に組み合わせ、それらの新しい関係性をデザインします。視点を変えて世界を捉え直す、「芸術×教養」の思考法を実践しましょう。

【必要機器】

プロジェクターと映写可能な壁・スクリーンまたはモニター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

自身の興味や関心を表すような小物を1〜3点ほど持参してください
(種類は問いません。文房具や小さなフィギュアなど、何でも大歓迎です)

【受講される方にひとこと】

絵を描いたり、作曲したりすることはもちろん、「モノとモノの新しい関係性」をつくりだすことも立派な創造です。作品制作の枠を超えた、芸術教養領域ならではの「クリエイティブな思考・アプローチ」を一緒に体験しましょう。

L-08 半径1メートルから「探究」がはじまる：50分で探究サイクル

講師 山田 勝洋 〈ヤマダ カツヒロ〉

コース 芸術学部 芸術学科 芸術教養領域 リベラルアーツコース 准教授

科目 芸術教養レビュー、芸術教養演習、卒業研究、アートプロジェクト

可能日 事前にご連絡下されれば可能な限り調整致します。 **形式** 講義・演習

講義内容

日常の素朴な疑問を起点に、50分で「探究サイクル」を実践します。自身の興味や素朴な疑問がいつのまにか本格的な問いへと深まっていく、芸術教養領域ならではの学びを通じて、探究することのおもしろさを実感してみませんか。

【必要機器】

プロジェクターと映写可能な壁・スクリーンまたはモニター

【受講者に事前に準備していただきたい内容】

特になし

【受講される方にひとこと】

探究のはじまりは、実はすぐそばにあります。問いを立て、観察し、深めていく過程は、みなさんが今後歩む道を見つける手がかりにもなります。ぜひみんなで探究しましょう。